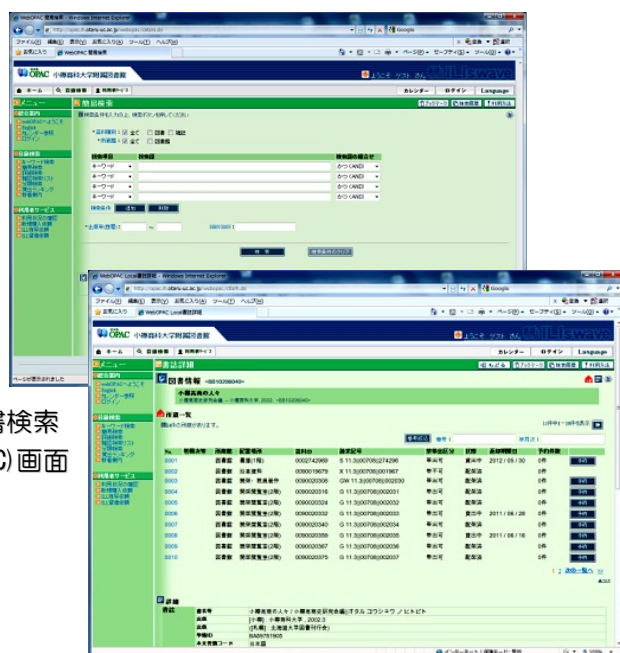


図書館システム沿革

年	月	内 容
1975(昭和 50)年	2月	閲覧貸出業務用の電算システム(OKITAC-4300C)を導入
1983(昭和 58)年	1月	ブックディテクション(図書無断持出防止)システムを導入
1986(昭和 61)年	7月	NEC 図書館貸出システム(PC1 台)を追加
1989(平成元)年	4月	図書館業務用システムを導入(富士通 ILIS-K)
		蔵書検索サービス(OPAC)を開始
		NACSIS-CAT, ILL に参加
1994(平成 6)年	2月	図書館業務用システムを更新(丸善 CALIS)
		学内 LAN によるオンライン化で蔵書検索が 24 時間可能となる
1997(平成 9)年	4月	目録遡及入力を開始
1998(平成 10)年	2月	図書館業務用システムを更新(丸善 CALIS, 業務用 VT 端末を PC 化)
		CD-ROM サーバを導入、各種データベースの提供開始
2002(平成 14)年	2月	図書館業務用システムを更新(富士通 iLiswave)
		蔵書検索(OPAC)サービスをインターネットで公開
2005(平成 17)年	3月	文献画像 DB サーバを導入し、貴重図書画像データの提供を開始
	11月	図書貸出オンライン予約サービスを開始
2007(平成 19)年	2月	図書館業務用システムを更新(富士通 iLiswave)
		入館管理システムを導入
2008(平成 20)年	3月	小樽商科大学学術成果コレクション(愛称 Barrel)を正式公開
2010(平成 22)年	3月	目録遡及入力を完了(カード目録停止)
2011(平成 23)年	2月	図書館業務用システム更新(富士通 iLiswave-J. ver. 2)



目録情報検索室

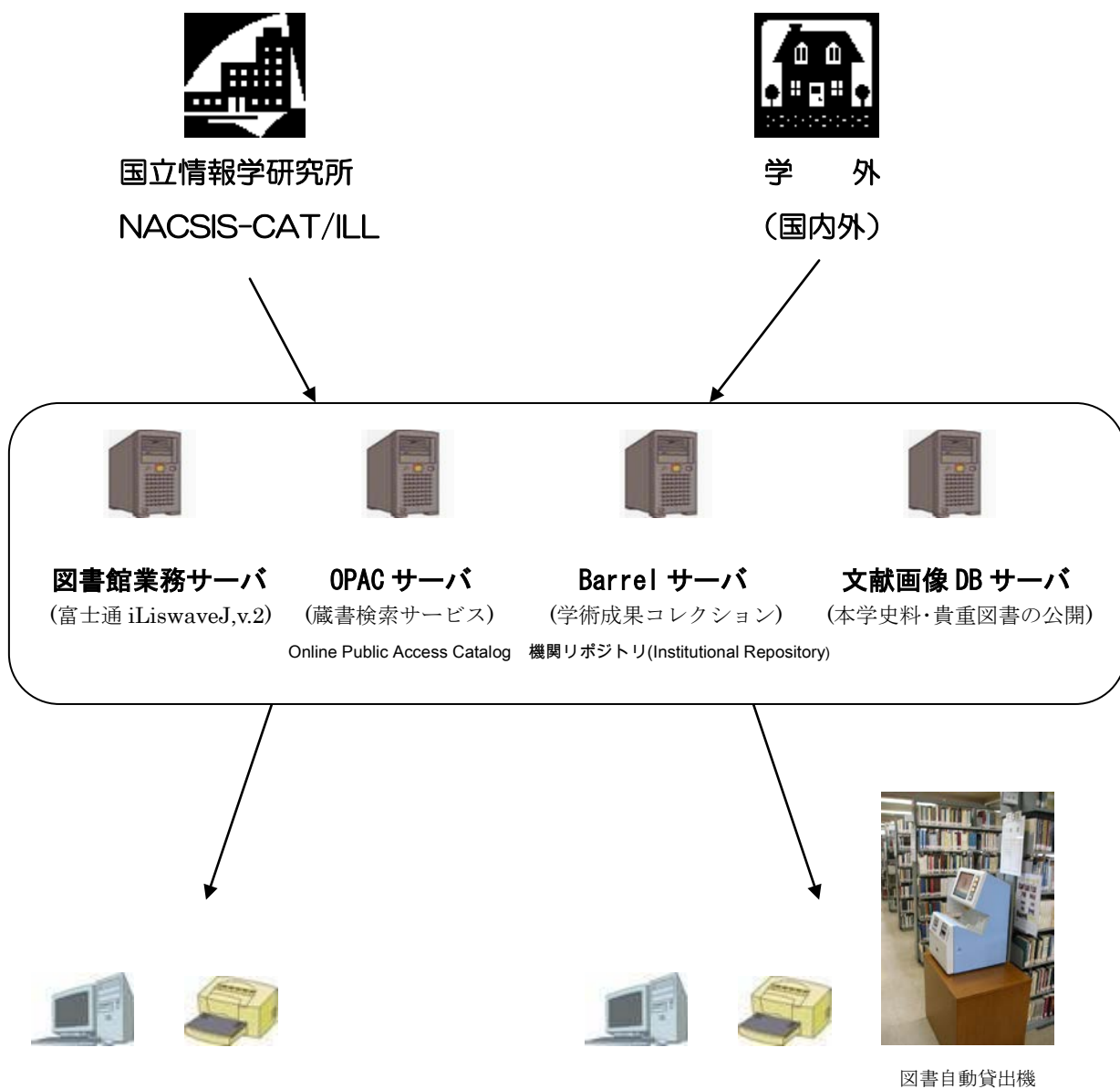


蔵書検索
(OPAC)画面



入館システム
出入口ゲート

図書館システム構成



図書館業務端末 10台
 業務用プリンタ 4台
 業務用複写機 1台

利用者検索用端末 14台
 利用者用プリンタ 3台
 図書自動貸出装置 1台
 利用者用複写機 2台